

平成29年度 ボートレース事業局の重点課題

モーターボート競走事業 管理者 大林 諭

<全体方針>

《長期にわたる安定収益の確保》

長期にわたり安定した収益の確保が可能となるように、事業をデザインし、事業全般の基礎を強固なものとする。

《全国的な市場の確保と本場活性化により収益の確保》

全国的な電話投票戦略や場間場外発売戦略を更に強化し、安定的な収益を確保するとともにナイターレース場の増加に伴うナイター競合の激化に対応できる経営環境を目指す。また、清潔で明るく安全な施設を発信し、若者・女性等の新規顧客の開拓とシルバー世代の再来場を目指す。

《安全なレース環境の確保》

水上施設の長寿命化を図るとともに、安全なレース環境を確保するため、計画的に施設整備を進める。あわせて、スタンド棟の適切なメンテナンスを実施し、施設の維持保全を図り、長期にわたる事業運営を目指す。

<課ごとの指導方針>

経営課

- ・市財政に寄与するため安定的な収益の確保ができる経営環境を整える。
- ・快適なレース観戦環境と安全なレース環境の確保を図る。

営業課

- ・全国的な営業展開により場間場外発売の強化を図る。
- ・若者、女性、シルバー世代の来場促進を図り、本場の活性化に努める。
- ・多様な情報の発信に努める（ホームページの改善、Wi-Fi環境の整備等。）

企画戦略課

- ・中長期にわたる経営戦略を立案し、事業の方向性を定める。
- ・場外発売場の既存施設の活性化や新規開拓により発売の強化を図る。

平成29年度 各課の重点的取組				最終評価	
課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	評価 (進捗結果)	所見
経営課	★市財政に寄与するため安定的な収益の確保	●地方公営企業として、効率的な経営を目指し、営業経費の見直し等を実施し、収益構造の安定化を図る。	○事業収益率5%の確保 ○中期経営計画の実践	A	上半期決算で収益率7.1%を確保。 昨年9月策定の中期経営計画改訂版に基づき事業を進めている。
経営課	★安全なレース環境の確保と快適な観戦環境の提供	●水上施設の長寿命化を図るとともに適切な保守を実施し、長期間にわたり、安全なレース環境の確保を図る。 ●清潔で明るい施設を維持し、快適な環境を提供する。 ●長期的な視点で施設整備を行い、事業の安定化を図る。	○水上施設改修の基本設計の策定と適切な保守の実施 ○適切なメンテナンスの実施 ○長期施設改善計画の推進	B	競走水面北側防風ネット増設に伴う実施設計が完了。 北側練習ピット改修工事が12月に完了。 定期的なメンテナンスを実施中。 選手管理棟他整備基本計画を策定。
営業課	★場間場外発売の強化	●他場、ボートピア等への営業活動を積極的に展開するとともに映像等充実した情報提供に努める。	○一般レース（GⅢを含む）1日あたりの協力場数：50場	B	2月末現在 ○一般レース（GⅢ含む）1日当りの協力場数：60.7場 H30年9月より大村ボートがナイター参入し、ますますナイター競合数が激化することから、更なる営業活動を強化し、協力場の増加に努める。

営業課	★本場の活性化	●音楽イベントやクリスマス等季節感のあるイベントや友好都市等の物産展等を開催し、若者、女性、シルバー世代の来場促進に努める。	○自場開催日の ・女性来場者比率：12% ・土日祝の女性来場者比率：15%	B	2月末現在 自場開催日の ○女性来場者比率：12.2% ○土日祝の女性来場者比率：15.4% 今後もカルチャースクールやワークショップ等女性・若者をターゲットとしたイベントや女性向けファンサービスを継続して実施し、来場促進に努める。
営業課	★充実した情報発信	●HPのリニューアルや本場施設内にWi-Fi環境に整備し、多様な情報発信に努める。	○HPのリニューアル ○Wi-Fi環境の整備	B	○HPのリニューアル 9月25日にリニューアル完了 ○Wi-Fi 3月31日よりサービス開始 今後は、顧客ニーズに合ったコンテンツを充実させ、多様な情報発信に努める。
営業課	★Bカード・まるぽ会員の囲い込みと新規会員の獲得	●Bカード・まるぽ会員の期間限定ポイントアップキャンペーン等サービスを充実させ、既存客の囲い込みと新規顧客の獲得を図る。	○新規Bカード会員：1,000名 ○新規まるぽ会員：3,500名	A	2月末現在 ○新規Bカード会員：1,380名 ○新規まるぽ会員：5,741名 今後もBカード会員、まるぽ会員サービスの充実を図り、既存客の囲い込みと新規顧客の獲得に努める。
企画戦略課	★市財政に寄与するため安定的な収益の確保	●効率的な経営計画を策定し、収益構造の安定化を図る。	○中期経営計画の次期計画の準備。	B	業界を取り巻く環境が激変している中、業界と丸亀ボートの現状分析を行い、本場の課題などを洗い出し中である。これらにより、今後の戦略方針を決定し、平成30年からの次期中期経営計画の早期の策定を図り、具体的な施策案の検

					討も併せて行う予定である。
企画戦略課	★企業性を発揮できる組織運営の確立	●機構改革に伴い効率的な組織運営を図り企業性の発揮を目指す。	○担当間業務の調整	B	定例の経営会議等で共通の課題と認識を持ち、組織を横断した施策の展開が図れている。
企画戦略課	★ポートピアの運営の効率化	●ポートピア朝倉の効率化を図り、独立採算制を高めるとともに長期的な安定運営を目指す。	○平成32年度の契約終了後の運営計画を策定する。	C	運営形態のあり方を含めた計画を施設所有者等と協議中である。平成33年度からのBTS朝倉の安定運営に向けて、内容・方針案等を決定し、平成33年度以降の運営計画策定の予定である。